

平成 23 年 9 月 30 日

三木町長 殿

三木町百眼百考会議

安心づくり部会座長 香西 廣信

## 提 案 書

次のとおり、提案します。

### 記

#### 1 提案する施策の名称

町内の交通事故の撲滅をめざして！

#### 2 提案する施策の内容

##### (1) 住民意識の向上のための施策

###### ①交通安全意識啓発活動としての意識調査（アンケート）の実施

家庭内で交通安全について話し合える機会となるよう、家族全員で考え、回答する内容とする。調査対象は、町内における小・中学生とその家族を対象に実施する。調査方法として配布は学校に依頼をし、回収は、校外交通部に依頼をすることにより、経費の削減と回収率の向上を図る。

アンケート結果から、町民の意向を取りまとめ、その結果を尊重し、早急に検証し、対策に取り組む。（別添 2 参照）

###### ②事故防止のための車輛等にステッカー（シール）の作成・貼付

三木町独自のデザインのシールを作成し、公表する。三木町民である自覚のもと、安全運転を心がけてもらう。

自動車用、二輪車自転車用の 2 種類（アルミシート裏側粘着テープとする）を作成し、各戸へ配布する。（別添 3 参照）

③高齢者の自動車運転による事故が多いことから、75 歳以上で高齢化に伴い運転に不安を持たれている方が運転免許証を自主的に返納するために、コミュニティーバスの増便、デマンドタクシーの整備などの環境を整備することにより、交通事故防止を推進する。

##### (2) 町内の道路の危険箇所の把握と改善の為の施策

###### ①町内の道路等危険箇所の点検・整備（道路交通環境整備）

・百会議の会議の中で、委員が危険箇所を提示し現地を確認したところ、交差点の不整備・信号機の不備、カーブミラーの未設置、白線の磨耗等が随所で見受けられた。これらは一部であり、まだ多くの危険箇所が存在すると思われるので、全町規模の見直し、調査を実施し把握のうえ、対応を計画的に進めてゆく必要がある。

・別紙各委員からの危険箇所を視察した場所を提出するので、早急に実施・実行するよう望む。

###### ② 交差点の整備

交通事故の多くは交差点で発生していることから、危険な交差点を事前にドライバーに認識させる。モデル地区を設定し、効果を調査し、結果により全町へ実施する。

- ・危険な交差点の道路面にカラー舗装の設置（別添1参照）
- ・交差点の夜間対策として、高輝度標識標示のモデル地区の設定
- ・危険な交差点に目立つような表示（三木町の特色ある獅子頭に反射板を付ける）を設置する。

### 3 現状の課題（提案の目的及び理由）

三木町の交通事故発生件数は過去10年間の推移をみると微減の傾向にはあるものの、香川県においては交通死亡事故率ワースト1という現実があり、その汚名を返上することが緊急の課題である。

その原因として、自動車、自転車等の運転マナーが悪く交通事故の誘因になっていること及び事故が多発する要因として道路等の環境整備の不備があると思われる。

運転マナーの向上については各個人の交通安全の意識の向上が不可欠であり、このためには家庭内での会話の中にポイントを見いだすことができると思う。家を出る時の家族からの「気をつけて。」の一言で、交通安全について再認識することもできることから、家族全員で交通安全について話し合える場を作ることも含めてアンケート調査の実施を提案する。

一方、委員が認識する危険箇所を調査、確認した結果、白線の整備、カーブミラーの設置、標識の設置など比較的安価な投資で危険を回避できることが共通に認識できたことから、町内の道路の危険箇所の把握と改善を提案する。さらに、交差点での事故多発の現状から危険な箇所であることを、積極的にドライバーに認識させる為に整備を提案することとした。

三木町には現在、自動車専用道路、国道、県道、町道、農道等が存在し、各道路の管理者、公安委員会との協議、調整、依頼が必要不可欠であるので、三木町から積極的な働きかけを行う必要がある。

町の交通安全対策の現状では、人的問題（脆弱な体制）もあるが、もう少し積極的に施策を各方面に提案し、町内の交通事故撲滅に取り組んでいただきたい。

我々委員が少しでも町の安心・安全に寄与したいと5点を提案するが、まだまだ提案が不足・物足りないところもあります。その点については補足しぜひ実践していただきたい。町民が交通安全活動に意欲を持って取り組めるよう、その啓発・推進の一助になればと思う。

### 4 提案する施策の実施により予想される効果

#### (1) 住民の交通安全の意識の高揚

- ・家庭内での交通安全に関する会話を増やすことにより、広い年齢層での意識の高揚を図ることができる。

#### (2) 交通安全マナーの向上

- ・自己啓発キャンペーンによって、自らマナーを自覚し模範となることにより、三木町民から交通マナーアップの住民モデルとなってもらおう。

#### (3) 交通事故の減少

- ・安心づくり部会による現地調査の結果（三木町の一部）、危険箇所が12件あり、早急に整備または改善することにより事故防止に役立つ。
- ・町全体の危険箇所を把握することにより、計画的に整備をすすめることができ、交通事故の減少につながる。
- ・危険箇所を事前にドライバーに認識させることにより、交通事故の危険を回避することができる。

5 提案する施策の実施に要する費用の額及び内訳

2 - (1) - ① アンケートの実施		<b>50,000 円</b>
用紙の作成、	(生徒数) 2,500 部×20 円=	50,000 円
2 - (1) - ② ステッカー作成		<b>4,730,000 円</b>
自動車用	(世帯数) 11,000 枚×290 円=	3,190,000 円
自転車・バイク用	(世帯数) 11,000 枚×140 円=	1,540,000 円
2 - (1) - ③ 高齢者の免許返還の環境整備		<b>38,513,000 円</b>
コミュニティバスの増便	車両費 (リース7年)	2,913,000 円
	運営経費	8,100,000 円
デマンドタクシーの整備	(満濃町22年度実績)	27,500,000 円
2 - (2) - ① 交差点整備		<b>8,975,000 円</b>
危険箇所調査委託	100 箇所× 5,000 円=	500,000 円
路面カラー舗装	23 箇所×25 m <sup>2</sup> ×7,920 円=	4,554,000 円
危険交差点警告表示	23 箇所×30,000 円×4=	3,600,000 円
提言箇所整備費		
信号機・県道交差点等	(公安委員会・道路管理者へ依頼)	
カーブミラーの設置	5 箇所× 37,000 円	=185,000 円
標識の設置	4 箇所× 30,000 円	=120,000 円
ライン引き	50 メートル×320 円	= 16,000 円

6 その他参考資料(添付資料の名称)

- (1) 危険箇所の視察場所 (別添現地写真参照)
- (2) ステッカー (シール) の見本①・②
- (3) アンケート調査(案)
- (4) 安心づくり部会報告の資料添付

別添2参照

交通安全アンケート調査表

質問に対して該当する番号に○を付ける、また（ ）には回答を記入して下さい

- 1 あなたの家庭では交通安全についてお話したことがありますか  
1 ある 2 ない  
あると答えた人はどんな話をしましたか、簡単に記入して下さい

.  
. .  
. .  
. .

- 2 ヘルメットを着用していますか（自転車、バイク）  
1 着用している 2 着用していない
- 3 運転する時、シートベルトの着用をしていますか  
1 着用している 2 着用していない

- 4 あなたは黄色信号で止まりますか  
1 止まる 2 止まらない

- 5 自転車の二人乗りまたは並列運転は危険と思いますか  
1 危険と思う 2 危険と思わない

- 6 夜間運転をするとき、早めにライトを点灯しますか  
1 点灯する 2 点灯しない

- 7 運転中、携帯電話をしたとき危険と思ったことがありますか  
1 危険と思った 2 危険ではない

- 8 交通マナー違反について、見たり感じたこといくつかでも記入して下さい

- 9 あなたの住まいの周辺で交通危険箇所があれば記入して下さい

.  
. .  
. .  
. .

- 10 町の交通安全対策に対して、ご意見・ご希望があれば記入して下さい

.  
. .  
. .  
. .